

「ロシュトカラ行政郡ヒチフ村及びシンデフ村における道路改修・整備計画」 引渡し式

7月14日、相木大使は、ゴルノ・バダフシャン自治州ロシュトカラ郡ヒチフ村及びシンデフ村を訪問し、「草の根・人間の安全保障無償資金協力」で実施された、同行政郡2村の道路改修・整備計画事業（供与額：90,203米ドル）の引渡し式に出席しました。

相木大使は引渡し式の挨拶で、道路改修等の人々の生活に密着した基礎的ニーズの支援は、日・タジキスタン二国間協力において重要な分野であり、今回のプロジェクトにより、道路が改修・整備され、医療機関等へ自動車でスムーズにアクセスできるようになったことで、地域住民の方々がより安心して生活できることを願う旨述べました。これに対して、ダレル・ジュマ エネルギー・水資源省大臣、及びアザム・ショミルゾゾダ ロシュトカラ郡長からは、日本政府及び日本国民からの支援に対して謝意が表明されました。

タジキスタンでは、1996年から今日まで、草の根・人間の安全保障無償資金協力として合計453件、総額約3,740万ドルに上るプロジェクトが実施されています。

